

平成25年度広島県合同輸血療法委員会研修会
平成26年2月15日(土)、広島国保会館

輸血療法に関する訪問相談事業について

広島県合同輸血療法委員会視察員
高田 昇：広島文化学園大学看護学部
藤井輝久、平岡朝子：広島大学病院輸血部
荒谷千登美：呉共済病院検査部
古本雅明：広島県赤十字血液センター

★この発表で使用した写真には今回の報告とは無関係のものがあります

輸血療法の歴史

1818年 ブランデル：ヒトからヒトへの同種輸血
1900年 ランドシュタイナー：ABO式血液型発見
1916年 抗凝固剤クエン酸ソーダの発見
1930年 浜口雄幸首相への輸血
1936年 シカゴの病院に世界初の血液銀行設立
1940年 ランドシュタイナー：Rh血液型の発見
1944年 コーン：エタノールによる血漿分画
1948年 枕元輸血による梅毒感染
1954年 ドセー：白血球のHLA抗原を発見
1965年 ブルンバーク：B型肝炎ウイルス(HBV)の発見
1970年代～ 成分輸血の普及 HBV検査開始
1983年 HIV発見
1985年 HIV、HTLV- I 抗体開始
1989年 HCV抗体検査開始
1999年 HBV、HCV、HIV核酸増幅検査を開始

2

AABB American Association of Blood Banks



- 1947年 設立, FDAと連携
- 1957年
 - Technical manual: 検査の標準化
 - Standards: 輸血医療の標準化
 - Accreditation: 輸血関連施設の視察と認証
- 1960年 Transfusion: 医学雑誌
- 2005年
 - 輸血・細胞治療分野の非営利組織、国際的視点
 - 80ヶ国、2000の機関(医療、研究、会社)、8000人



日本輸血・細胞治療学会の視察と認証

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会
The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

What's New

- + 2014/01/31
 - » 『学会支部』の『関東甲信越支部』に『第137回 支部例会 プログラム』を追加しました。
- + 2014/01/24
 - » 『ガイドラインなど』の『輸血関連書式例(同意書など)』に『患者さん用説明書(血漿分画製剤使用の前に：図解版)』を追加しました。

Information

- + 2014/02/10
 - ISBT(ソウル大会)の演題締切は2月20日です。どうぞ以下のサイトから奮ってご応募ください。
 - » <http://www.isbtweb.org/seoul/abstract-submission/>

第62回総会
2014/5/15(木)~5/17(土)

第20回 秋季シンポジウム
2013/10/22(火)

H25 厚生労働省委託事業
血液製剤使用実態調査
輸血業務に関する総合的調査

会員専用サイト

eラーニング
輸血医学自己学習システム

輸血医学 (準備中)
Case Study 加盟中

オンライン投稿
査読システム

平成23年度輸血療法研修会後のアンケート

【研修会への要望事項】

- 新たに輸血療法委員会を設置した、または設置予定の医療機関向けの研修
- 副作用の把握方法、事例及び対策に関する研修
- 小規模病院にも対応できる方策の紹介
- 小規模病院での問題点の事例紹介
- 【合同輸血療法委員会への要望事項】
- 外部監査を受けたい
- 輸血療法の相談や院内体制等の相談

輸血療法の標準化

- 輸血療法は
 - 救命のために不可欠の治療法である
 - 同種免疫と感染症伝播の問題を抱える
 - 善意の人々の献血によって支えられている
 - 有効性・安全性の上に適正使用が求められる
- 輸血医学の進歩により輸血療法は変化する
- 安全で適正な輸血療法の推進には、施設や地域で異なることのない、標準的な輸血管理法および輸血方法の普及を図る必要がある

訪問相談事業の目的

広島県合同輸血療法委員会が実施する訪問相談は、輸血療法の専門医師と専門臨床検査技師等がペアとなって希望医療機関を訪問し、現場の視察とスタッフとのディスカッションを通じて輸血医療の標準化と質の向上を図る。

実績：平成24年度 2施設
平成25年度 3施設



訪問相談事業の概要

- 相談事業の募集
- 応募
- 幹事会で病院選定
- 事前チェックリスト送付
- 視察員選定と日程調整
- 視察(巡視前質疑・院内巡視・講義)
- 視察後報告書作成・送付

大分類別のチェックリスト項目数

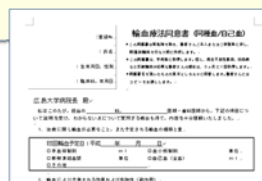
大項目	学会版	広島版
A 基本理念	1	1
B 輸血管理体制と輸血部門	98	32
C 輸血用血液の搬入	10	0
D 輸血用血液の適正な保管管理	23	9
E 輸血用血液の在庫・返品管理	32	10
F 輸血用血液の受け払い管理	57	16
G 輸血検査	105	47
H 輸血実施	38	13
I 副作用の管理・対策	43	25
J 自己血輸血	177	0
K 院内同種血採血	38	0

B 視察前チェックリストの例

- B3.000 輸血部門-
- B3.100 目的-
- B3.110 院内に専門の輸血部(科)または、輸血業務を一括して行える輸血部門を整備している はい・いいえ・その他
- B3.210 病院内の輸血医療に責任を持つ輸血責任医師を任命している はい・いいえ・その他
- B3.220 輸血責任医師は病院内における輸血業務全般について統括し、輸血医療における安全管理の責任を負っている はい・いいえ・その他
- B3.400 担当技師の配置-
- B3.410 輸血業務全般(輸血検査と製剤管理を含む)について十分な知識と経験豊富な臨床検査技師を任命している はい・いいえ・その他
- B3.420 輸血部門の業務は24時間体制で行われている はい・いいえ・その他
- B3.421 臨床検査技師による日当直体制が整っている はい・いいえ・その他
- B3.423 日当直者には、定期的に輸血業務に関するトレーニングが行われている はい・いいえ・その他

B 輸血管理体制と輸血部門

- B1 輸血管理体制の整備状況
- B2 輸血療法委員会(または同様の機能を有する委員会)の設置及び決定事項の院内周知の状況
- B3 輸血部門:専門部門の整備と輸血責任医師及び専門知識を有する検査技師の任命
- B4 院内監査、記録の保管
- B5 同意書の配置・インフォームド・コンセントの実施の状況



D 輸血用血液の適正な保管管理

- D1.1 適切な保管場所：輸血部門内での保管、特定の患者用血液の明示
- D1.2 適切な管理：輸血用血液専用冷蔵庫での管理
- D1.3 適切な保存温度：日常および定期点検



E 輸血用血液の在庫・返品管理

- E1 製剤管理と適正在庫
- E2 返品等の取り扱い
- E3 記録類の保管：輸血用血液及び血漿分画製剤の使用記録20年，納入伝票等2年以上保管



G 輸血検査

- G1.2 検査室の整備
- G1.3 検査用試薬の精度管理
- G2 血液型検査、不規則抗体スクリーニング検査の実施と記録保管
- G3.1 交差適合試験の実施と記録保管
- G3.2 緊急時検査の手順の整備
- G3.3 大量輸血時の適合血必要時の手順の整備
- G3.4 救命処置としての輸血の使用基準
- G5. 夜間・休日の対応と輸血検査の管理



H 輸血実施

- H1 輸血用血液使用基準
- H2 輸血前の管理：外観検査，取り違え事故防止，照合作業
- H3 輸血中の管理：輸血開始直後の患者観察
- H4 輸血終了後の管理



I 副作用の管理・対策

- I 1.1 副作用の管理・対策
- I 1.3 輸血前及び後の感染症検査の実施：HBV，HCV，HIV
- I 1.5 輸血後遡及調査への対応
- I 1.6 副作用の発生または拡大を防止するための報告義務と救済制度の院内周知



訪問事業等のメリット

- 無料で実施
- 専門家とのディスカッション
- 院内での医療従事者に対する研修会の開催
- 血液部門以外の医療従事者に対する啓発
- 「危機的出血への対応ガイドライン」の院内周知
- 血液管理料を適用や廃棄処分を減少等の経済的なアドバイスの提供
- **医療機関における輸血療法の標準化の推進**

訪問事業等から推察される課題

- 病院の規模、役割に応じた輸血療法
- 輸血療法委員会の権限の強化、院内周知
- 検査体制の整備：専門技師の育成
- 「緊急時の輸血に対応する院内体制」の整備
- 「危機的出血への対応ガイドライン」の院内周知
 - O型赤血球の輸血体制の整備
 - O型以外の適合赤血球の輸血体制の整備
- 廃棄処分を減少させるための取組み
- 院内スタッフ向けの研修会